

全国小学生交流大会

日産スタジアム 8/19

男子			女子				
6年100m	⑦	土橋 遥人 (井吹西小)	12"44 (+0.2)	6年100m	⑨	谷口 心音 (三木小)	13"61 (+1.1)
80mH	④	足立 英士 (寺前小)	12"27 (+1.0)	80mH	1位	岸本 礼菜 (明峰小)	12"17 (+0.6)
4X100m	⑦	米田小	51"90	走高跳	④	山崎リリヤ (鳥飼小)	1m38
		中島・長通・金川・辻本		走幅跳	⑦	三木 胡桃 (的形小)	4m60 (+0.0)
走高跳	⑦	中井 達也 (北条小)	1m40	ジャベリックスロー	1位	山本 萌日 (菅生小)	53m79

小学生クロスカントリーリレー研修大会

大阪万博記念公園 12/9

1位	北浜JRC	31'01"
塚本・田中・山下・河野・井澤・藤原		

お知らせ

2019年度の日本陸連登録作業について

(2019年度の変更点)

昨年、国際陸連 (IAAF) が国際大会に出場するための基準を、現在の参加標準記録制度から事前の大会で取得するポイントにより評価する制度に移行することを発表しました。現在日本のリザルトは日本語で処理されているために、IAAFのランキングに反映されにくい状況にあるため、登録申請に「会員英字氏名」「国籍」項目が必須となります。

(1) 2019年度より、申請時の会員情報に「英字氏名」と「国籍」が必要になります。

継続会員…申請者リストに追加した後、情報編集画面 (氏名をクリック) より必ず入力・編集を行ってください。未入力および入力例に沿っていない場合は申請できません。

英字氏名…姓は半角大文字 (RIKUREN)

名は先頭のみ半角大文字それ以外は半角小文字 (Taro)

*ミドルネームは姓・名どちらかに寄せて入力する。スペース、中点 (・) で区切る

*必ずパスポートと同じ表記を記入する。

国籍…プルダウンで選択する。

登録番号…前年度から継続。

新規会員…会員情報登録画面から必須項目を入力する。

登録番号…登録郡市から必須項目を入力する。登録番号の重複に注意する。

(2) 申請者リストを確認して、申請する。

(3) 申請完了。登録者証明書PDFのダウンロードし、証明書発行 (印刷) する。

申請用紙は、登録郡市の指示に従うこと。

(4) 登録費を登録郡市の指示に従い納入する。

(5) 登録内容と登録費入金の確認が済み次第、兵庫陸協事務局が「承認」する。

「承認」後、日本陸連への登録が完了。

※日本陸連に登録していない人には、選手及び審判の資格がありませんので注意願います。

兵庫陸協だより 編集委員会

宮永 正俊 (編集委員長) 西盛 康子 (編集副委員長)
田中 暢人 正木 一央 山本 紀子 井澤 孝彦
岡田 愉久 吉井 克行 富永 大貴 望月由美子 (委員)

発行 一般財団法人兵庫陸上競技協会
〒651-0076 神戸市中央区吾妻通4-1-6
神戸市生涯学習支援センター内
TEL:078-231-1771 FAX:078-231-1772
http://www.haaa.jp



兵庫陸協だより

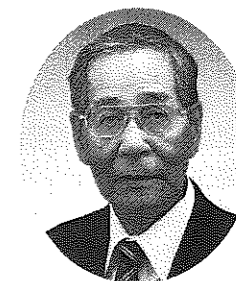
発行誌(一財)兵庫陸上競技協会広報委員会 2019年3月31日

第2号

機関誌発行によせて

(一財) 兵庫陸上競技協会

会長 西川 公明



(一財) 兵庫陸上競技協会、発行第2号は、各地の加入団体の思いが掲載されております。それぞれの協会運営、各種競技会、選手育成、種々様々な方法で陸上競技そのものに寄与されております。今、私達協会に携わるひとりの人として考えていかなければならないことが多々ある様に思われます。1980年前後、日本は、ジャパン・イズ・ナンバーワンと持て囃されました。アメリカのハーバード大学の経済学者に褒め称えられました。組織が素晴らしい、上意下達で三角形の頂点に立つ人が、リーダーシップを取り、三角形の底辺層の人々が上意をめざし頑張り、当時夢の様な家庭製品が作り出され、人々は謳歌しました。現在この形式は、日本経済を壊してしまうといわれています。アップル社を創業した、スティーブ・ジョブズ氏はスタンフォード大学でのスピーチで述べられました。現状に満足せず、挑戦し続けよう。「stay hungry stay foolish」私達の協会もこの精神で築きあげていきたいと願っています。又、「利を優先し、情けをそえる。」の精神でよりよい協会をつくりあげていくべきだと考えています。



写真提供 オールスポーツコミュニティ



写真提供 強化委員会

今年度の話題の選手紹介

今回は、都道府県対抗女子駅伝において優勝('18)、4位('19)の好成績にも貢献された2名の選手を紹介します。



田中 希実 選手紹介

まず一人目は、昨年アジアジュニア選手権3000mにおいて大会新記録で優勝し、さらにU20世界選手権3000mにおいても優勝したND28ACの 田中希実 選手です。田中選手は、西脇工業高校時代から国体少年B1500m ('15) 少年A3000m ('17) 優勝、全国インターハイ ('17) 1500m, 3000m 2位と輝かしい成績を残し、特に3000mは日本高校歴代2位の記録を樹立しました。高校卒業後は、同校出身の後藤夢 選手とともに、尼崎市を拠点とする「ND28AC」のクラブチームで競技を継続しています。2018年のシーズンは、プレッシャーもかかるシーズンではあったものの、自分のペースで練習や試合に参加できた。そのため、国内だけでなく国際大会でも持ち前の気持ちの強さとラストの持ち味を発揮し実力をつけています。普段の練習からレベルの高いJogと流しを心がけ、ペースや距離に気持ちの壁を作らず突っ込んでいけることが強さの原点です。2019年は世界陸上出場を目標に、スピードを維持することで安定した力を発揮し、見る人の心を動かす走りをしたいと抱負を語り、これからの陸上界を引っ張る選手の1人として活躍が期待できます。



石松 愛朱加 選手紹介
続いて2人目は、昨年、国体少年女子B1500m優勝、ジュニアオリンピック女子A3000m優勝、さらに都道府県対抗女子駅伝においては2年連続区間賞で快走された加古川市立浜の宮中学校 石松愛朱加 選手です。2018年は全国1位という輝かしい成績だけではなく、負ける悔しさや兵庫1位のプレッシャーなどを経験し、陸上競技の本当の意味での勝つことの嬉しさや楽しさを実感できたそうです。苦手な筋力トレーニングなどチームメイトと共に励まし合いながら練習を重ねたことで、2018年度1500m、3000m共に全国中学ランキングトップの記録を残されるなど輝かしいご活躍でした。全中、国体、ジュニアオリンピック、駅伝と常に高いパフォーマンスで安定した走りができるのは、負けず嫌いな性格と天候など、様々な逆境的環境でも適応する能力をチームメイトと共に重ねた努力の賜物なのだと思います。



2019年は、自分の走りで応援してくれる方に恩返しとなるよう、新しい舞台である高校で全国インターハイや全国駅伝に出場することを目標にしています。速いだけではなく強い選手になることを目指し、自分らしく楽しく笑顔で陸上競技をしたいと抱負を語り、昨年に続き、全国の大舞台で活躍が期待できる選手だと思います。



写真提供 兵庫県体育協会

加入団体紹介

尼崎市陸上競技協会

皆様方におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素、当協会に多大なるご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

平成最後となりました今年度は、本協会から全国大会や国際大会に多数出場いたしました。中でも、園田学園高校3年の高良彩花さんは、アジアジュニア選手権、日本選手権、インターハイ、U20日本選手権、全てにおいて走り幅跳びで優勝、中でもインターハイは3連覇を果たしました。他にも、日本選手権、国体で400mHで優勝し、アジア選手権に出場した宇都宮絵莉さん（長谷川体育施設）、国体において5000mで優勝した田中希実さん（ND28AC）、全国定通制大会男子円盤投で優勝した湧上泰歩くん（神崎工業高）、U18日本選手権男子円盤投で優勝した執行大地くん（市尼崎高）、ジュニアオリンピックB男子100mで優勝した小園中学校2年の竹内璃空弥くん等、大活躍がありました。また、国体では、市立尼崎高等学校陸上競技部顧問の大久保良正先生が高校優秀指導者賞の栄誉に輝きました。

今年度も数多くの競技会が行われ、その締めくくりともいえる「第26回尼崎市小学校駅伝競走大会」が2月16日に実施予定です。毎年男女併せて150チームもの参加があり、ベイコム陸上競技場が割れんばかりの歓声に包み込まれます。

平成が終わりを告げ、新しい時代が訪れようとしています。この春以降どのようなドラマが繰り広げられるか今から楽しみです。

尼崎市陸上競技協会 理事長 竹川 淳

神戸市陸上競技協会

昭和21年の創立以来、愛好者の技術向上と市民の陸上競技に対する関心を高めるため活発な活動を続けてきました。現在、中高生の陸上競技部員（4000名余り）、教員らを中心に39団体、850名を超える個人選手が登録し、県内各都市の中で一番の大所帯となっています。

小・中・高校と熱心な指導者が多く、神戸からオリ

ピック選手を輩出すべくそれぞれの種別ごとにきめ細かい指導が実施されています。

特に小学生では「KOBE T&F SCHOOL」として王子競技場で年間22回、しあわせの村で年間6回の教室活動を実施するとともに、2月にはしあわせの村でクロスカントリー大会を多数の参加で行うなど活発な普及活動を実施しています。

また市民大会、総合体育大会、短距離・長距離の記録会など、年間9回の主催大会を開催するとともに、トップアスリートが指導にあたるジュニア対象のクリニックや災害復興のためのチャリティー陸上競技教室なども実施し、多くの登録者や児童生徒が陸上競技の魅力を発見しているようです。

神戸市陸上競技協会 理事長 正木一央

明石市陸上競技協会

明石市陸上競技協会は、125名の会員と実業団1、クラブチーム2、高校・高専8、中学12、小学校28の規模で活動しており、今年の4月29日に70周年を迎えます。

これまでの歴史の中では、1964年に開催された東京五輪の男子400mリレーに日本代表として出場した浅井浄さん（衣川中→明石高→関西学院大）。オリンピックでは第3走者を務め、準決勝まで進出。また、1992年に大阪国際女子マラソンで初マラソン世界最高記録（2時間26分26秒）で走り、バルセロナ五輪の女子マラソン日本代表に選出された小鴨由水さん（大蔵中→明石南高→ダイハツ）の2名をオリンピックとして輩出しています。

昨年は、明石商業高の大崎洋介選手が全国高校総体と国体で2冠。明石高専の北野友啓選手が全国高専大会110mHで優勝。また、香川全日中で宮田乙葉選手（朝霧中→夙川高校→甲南大）、長野全日中では溝口壘生選手（野々池中→社高校）が男女100mで全国の頂点に輝くなど、昨今は中高生の活躍が目立っています。

協会では、小学生を対象にした「走り方教室」を春と夏に開催するなど、陸上競技の裾野を広げる活動にも力を入れています。明石市小学生駅伝大会では、タイムトライアルの部も実施し、2千名近くの小学生が

明石公園を力いっぱい駆け抜けています。小鴨さんは、第1回に出場しており、再び素晴らしいアスリートが育つことを願い活動しています。

明石市陸上競技協会 理事長 信近清志

☐☐ 姫路市陸上競技協会 ☐☐

姫路市陸上競技協会は「山頂を高くするには裾野をより広く強くバランス良くすることが大切である」と考え、ジュニア育成（陸上教室・小学生大会）、選手強化（練習会・合宿・指導者研修）、大会運営（選手・観衆目線を意識）、記録収集（年鑑作成）を各専門委員会（普及・強化・競技・審判・情報）が中心となり、事業を展開しています。

その活動の一つとして、強化委員会・普及委員会が中心となり、陸上教室を年間9～15回程度実施しています。小・中・高・一般の方々が集まり、専門のコーチから指導を受けてスキルの向上に努めています。そして、その成果が県大会・近畿大会・全国大会への出場という形で現れ、大変喜ばしい限りです。指導者も毎年12月に研修会を開催して、育成強化への意識を高めています。

また、ウインク陸上競技場（姫路市立陸上競技場）において年4回の記録会・競技会を実施しています。大会要項等は兵庫陸協HP内姫路市陸上競技協会HPをご覧ください。そこで樹立された最高記録を競技場の玄関ロビーに「競技場記録」として掲げています。ほとんどの記録は平成の間に塗り替えられましたが、中には昭和の記録も残っています。これらの記録に挑戦することが選手の励みにもなっています。

最後に、競技並びに協会の目標達成や継続には、公認審判員の確保が大前提です。人材を募りながら、ひとりひとりの力を結集し、魅力ある協会をつくってきたいと考えています。

◆◆ 三田市陸上競技協会 ◆◆

春まだ浅い今日この頃でございますが、皆様方におかれましては、益々ご清栄のことと存じます。

1月5日～6日の2日間、陸上競技部員の競技力向上を目指し、三田市中高合同練習会を開催しました。市内の中学・高校の陸上競技部員が一同に集い、短距離

パート、長距離パート、フィールドパートに分かれ、各校の顧問が自分の専門を活かして、熱心に指導を行いました。長距離パートでは、阪神都市対抗駅伝競走大会と県都市区駅伝競走大会の選手選考も兼ねており、選手たちは、真剣な表情で練習に取り組みました。陸上競技を通して、選手の健全育成と競技力の向上を目指し、頑張っています。

さて、12月16日（日）に、三田市、兵庫県マスターズ連盟と共に、第30回三田国際マスターズマラソンを開催しました。全国から5340名のエントリーを頂きました。当日は、風もなく晴天に恵まれ、マラソン日和となりました。ゲストランナーとして、君原健二さんと小林祐梨子さんにご参加頂きました。約1000名のボランティアスタッフを含め、沿道からはたくさんの応援があり、盛況の内に無事大会を終えることができました。今大会より、ファンランの部を新設し、270名の小学生と一般、車イスの方々が参加され、2kmを気持ちよく走って頂きました。今後も、大会運営がスムーズに行われ、選手の皆様が、練習の成果を遺憾なく発揮できますよう、準備してまいります。今後も、多数のご参加をお願い致します。

三田市陸上競技協会 理事長 中尾弘二

◎◎ 豊岡市陸上競技協会 ◎◎

昭和45年10月26日、神戸新聞に次のような記事が載った。「第1回但馬オリンピック(現豊岡オリンピック)陸上競技大会が25日開催された。小学生から60歳代まで、“自由に参加し、スポーツを楽しもう”との呼びかけに参加者500人、スタンドにも500人の家族や友人たちで沸き、但馬初の催しは見事成功した。競技の進行は、市の体協や学校の教員たちの総勢95名が当たり、豊岡実業、出石、八鹿各校の生徒も補助員として活躍した。10歳から60歳代まで種目も色々と分かれていたが、テキパキと進行し、午後4時過ぎに終了してみんなほっと。“陸協の行事としてもり立てたい”と自信を深めていた。」

これを機に全但馬の陸上競技協会が組織され、昭和50年9月シンダーの公認競技場の完成を見て、後にアンツーカーのトラックとなる。素人集団だった組織も、選手として活躍した中高生が教員となって、競技

会・陸協の運営に当たってくれている。オール但馬の組織は、兵庫陸協の指導により、平成7年から1市5郡(現在は、3市1郡)の組織に改編されるが、豊岡オリンピック、但馬選手権の大会は豊岡市陸上競技協会の管轄になっている。

気象条件や土のグラウンドという悪条件でも、全中、高校総体、国体のチャンピオン、そして、日本記録保持者、アジア・世界選手権代表も輩出してきたことは誇りに思う。

最近では、40年来の悲願であった全天候型トラック、写真判定装置も整備していただき、豊岡市には感謝の気持ちで一杯である。今後も但馬地域の発展のために、豊岡市陸上競技協会が中心となって参りたいと考えている。

(文責 橋谷昌司)

◎ 洲本市陸上競技協会 ◎

毎年1月に新春ロードレース大会を、3月に洲本市記録会、10月に洲本市陸上競技選手権大会、12月に洲本市駅伝競走大会を開催しています。3月の記録会はシーズンインの大会として、10月の選手権大会は

シーズン最後の大会として、多くの参加をいただいています。また、2月の都市区対抗駅伝競走大会にも毎年男女で参加し、中学生から高校生・大学生・一般の方でチーム編成をし、合同練習を行っています。そして、昨年度は女子が2部優勝という結果を残すことができました。12月の洲本市駅伝大会でも、一般・高校男女・中学男女の5部門に分かれて、さまざまな事業所、学校の各部活からチームをつくり、数十チームという多くの参加を得て盛大に開催されています。また、距離も、今年度より全部門3キロ4区間というショートコースの県内でも珍しいレースとなりました。今後も普及の意味合いからも続けていきたいと考えています。

そしてこのような大会はすべて、陸上競技協会の役員や会員の方々のご支援・ご協力により、大会が運営されています。この場を借りて御礼申し上げます。

2019年度も2018年度と同様に小規模ではございますが、協会員一丸となって各大会を計画し、開催したいと思っております。

洲本市陸上競技協会 原田 昌佳

2018年度大会報告

U20世界陸上選手権

フィンランド・タンペレ 7/10～15

女子

3000m	1位	田中 希実 (ND28AC)	8'54"01
走幅跳	②	高良 彩花 (園田高)	6m37 (+1.2)

アジア競技会

インドネシア・ジャカルタ 8/25～30

女子

400mH	⑦	宇都宮絵莉 (長谷川体育施設)	58"97
-------	---	-----------------	-------

アジアジュニア選手権

岐阜メモリアルセンター長良川競技場 6/7～10

男子

10000m	④	三浦 拓朗 (中央大)	30'55"80
ハンマー投	③	服部 優允 (中京大)	69m34
	④	中村 美史 (中京大)	67m70

女子

3000m	1位	田中 希実 (ND28AC)	9'04"36
10000mW	④	藪田みのり (県西宮高)	14'14"37
走幅跳	1位	高良 彩花 (園田高)	6m44 (+0.8)
砲丸投	②	尾山 和華 (福岡大)	15m54
やり投	②	武本 紗栄 (大阪体育大)	54m16

第102回日本陸上競技選手権

維新百年記念公園陸上競技場 6/22~24

男子

400m	④	田村 朋也 (住友電工)	46"58
800m	⑥	黒木 卓真 (近畿大)	1'50"48
5000m	②	遠藤 日向 (住友電工)	14'24"30
	④	田村 和希 (住友電工)	14'25"08
400mH	④	鍛冶木 峻 (住友電工)	50"23
円盤投	⑤	前田 奎 (S T T)	55m14
20K競歩	⑦	村山祐太郎 (順天堂大)	1' 21'37"

女子

5000m	②	田中 希実 (ND28AC)	15'32"65
400mH	1位	宇都宮絵莉 (長谷川体育施設)	57"37
3000mSC	④	瀬川 帆夏 (シスメックス)	9'59"73
走高跳	⑧	福本 幸 (甲南学園AC)	1m74
棒高跳	②	那須 真由 (園田学園女大)	4m00
走幅跳	1位	高良 彩花 (園田高)	6m22 (+0.5)
砲丸投	⑤	尾山 和華 (福岡大)	15m04

第34回U20陸上競技選手権

パロマ瑞穂スタジアム 10/19~21

男子

100m	②	丘田 龍弥 (関西学院大)	10"45 (+1.2)
800m	③	高橋 佑輔 (北海道大)	1'54"60
棒高跳	⑤	大崎 洋介 (明石商高)	5m00
三段跳	④	大六 拓海 (神戸鈴蘭台高)	15m51 (+2.1)
砲丸投	⑦	加島 辰哉 (市尼崎高)	16m33
ハンマー投	④	中村 美史 (中京大)	66m07
	⑥	藤本 智大 (九州共立大)	64m71

女子

800m	④	田中 希実 (ND28AC)	2'10"65
400mH	⑥	野田 朱音 (園田学園女子大)	1'02"06
棒高跳	②	友松 日南 (明石商高)	3m70
走幅跳	1位	高良 彩花 (園田高)	6m29 (+0.9)
三段跳	⑥	高島真織子 (福岡大)	12m32 (+1.4)
砲丸投	⑤	アヒンバレティナ (筑波大)	13m85
円盤投	④	永井 楓花 (姫路商高)	43m64
	⑦	アヒンバレティナ (筑波大)	42m05
ハンマー投	②	谷内 佳那 (九州共立大)	53m52
やり投	1位	武本 紗栄 (大阪体育大)	51m73
	⑤	栗原千賀子 (園田学園女子大)	47m64

第12回U18陸上競技選手権

パロマ瑞穂スタジアム 10/19~21

男子

400m	⑧	増田 潮音 (三田高)	48"84
110mH	⑧	久保田倅輔 (社高)	14"39 (-0.8)
400mH	⑧	塚原 啓太 (豊岡高)	56"28
三段跳	④	小林賢士郎 (豊岡高)	14m71 (+0.8)
砲丸投	②	石原 唯斗 (姫路商高)	15m74
円盤投	1位	執行 大地 (市尼崎高)	51m97
ハンマー投	⑤	執行 大地 (市尼崎高)	58m50

女子

200m	⑥	松永 朋子 (小野高)	24"81 (+0.1)
400m	③	中野 菜乃 (姫路商高)	55"74
400mH	③	中野 菜乃 (姫路商高)	1'00"03
走高跳	④	井上紗耶加 (北摂三田高)	1m68
棒高跳	⑧	古林 愛理 (明石商高)	3m60
円盤投	⑥	神本真衣音 (市尼崎高)	39m64
やり投	⑧	高橋 奈々 (滝川第二高)	43m92

第73回国民体育大会

福井県営陸上競技場 10/5~9

男子

成年	砲丸投	②	森下 大地 (第一学院高教)	17m51
少年A	棒高跳	1位	大崎 洋介 (明石商高)	5m00
	ハンマー投	⑥	執行 大地 (市尼崎高)	60m65
少年B	走幅跳	⑥	島田 拓実 (社高)	7m15 (+3.9)
	砲丸投	③	競 友哉 (市尼崎高)	16m34
少年共通	走高跳	②	柴田涼太郎 (社高)	2m09
	三段跳	④	大六 拓海 (神戸鈴蘭台高)	15m44 (+1.2)
	円盤投	③	永井 千啓 (明石西高)	48m01

女子

成年	100m	⑤	三宅奈緒香 (住友電工)	12"30 (-2.8)
	1500m	③	田中 希実 (ND28AC)	4'17"43
	5000m	1位	田中 希実 (ND28AC)	15'34"22
少年A	400mH	1位	宇都宮絵莉 (長谷川体育施設)	57"54
	棒高跳	④	那須 真由 (園田学園女大)	3m90
少年B	1500m	1位	石松愛朱加 (浜の宮中)	4'26"07

全国都道府県対抗女子駅伝

京都・西京極SG 1/13

④	兵庫県	2° 17'13"
	田中・樽本・塚本・後藤・土井・大西・荒井・石松・林田	

第66回実業団対抗選手権

ヤンマースタジアム長居 9/21~23

男子

200m	⑥	土手 啓史 (住友電工)	21"34 (+0.3)
400m	⑥	堀井 浩介 (住友電工)	47"96
400mH	1位	鍛冶木 峻 (住友電工)	49"75
4X400m	1位	住友電工	3'08"79
		土手・小西・堀井・鍛冶木	
円盤投	⑥	前田 奎 (S T T)	51m27

女子

100m	③	三宅奈緒香 (住友電工)	11"80 (-0.1)
200m	②	三宅奈緒香 (住友電工)	24"19 (+0.2)
100mH	④	梅原 紗月 (住友電工)	13"78 (-0.2)
	⑤	藤原 未来 (住友電工)	13"82 (-0.2)
400mH	④	梅原 紗月 (住友電工)	59"01
	⑦	藤原 未来 (住友電工)	1'00"42
3000mSC	④	瀬川 帆夏 (シスメックス)	10'16"13
走高跳	②	福本 幸 (甲南大職)	1m70
円盤投	⑧	山本 実果 (コンドーテック)	42m20
ハンマー投	⑦	増田たまみ (天理高教)	54m16

第87回日本学生対校選手権

川崎等々力競技場 9/6~9

男子

100m	⑤	平尾 裕希 (日本大)	10"42 (-1.4)
400m	⑥	北谷 直輝 (東海大)	47"20
1500m	⑦	高橋 佑輔 (北海道大)	3'50"48
5000m	④	西川雄一朗 (東海大)	14'12"90
	⑤	石井 優樹 (関西学院大)	14'14"37
	⑦	坂東 悠太 (法政大)	14'21"62
10000m	④	今井 崇人 (立命館大)	29'52"73
	⑤	石井 優樹 (関西学院大)	29'58"29
10000mW	⑧	村山裕太郎 (順天堂大)	41'39"92
走幅跳	②	遠藤 泰司 (立命館大)	7m84 (+5.9)
円盤投	③	岡崎 一輝 (立命館大)	51m53
やり投	⑥	池川 博史 (筑波大)	70m71

女子

400m	④	稲岡 真由 (園田学園女子大)	54"44
400mH	⑦	横田 華恋 (園田学園女子大)	1'00"03
10000mW	④	矢来 舞香 (中京大)	48'30"83
棒高跳	1位	那須 真由 (園田学園女子大)	3m90
砲丸投	②	尾山 和華 (福岡大)	15m33
ハンマー投	⑤	藤本 咲良 (中京大)	55m38
やり投	⑥	武本 紗栄 (大阪体育大)	51m42
七種競技	⑧	堂脇 優香 (武庫川女子大)	4953点

第71回全国高校対校選手権

三重県スポーツの杜伊勢 8/2~6

男子

110mH	③	久保田太一 (社高)	14"12 (+1.6)
5000mW	⑥	石田 理人 (尼崎西高)	21'25"89
走高跳	1位	柴田涼太郎 (社高)	2m09
棒高跳	1位	大崎 洋介 (明石商高)	5m00
	②	三戸田湧司 (明石商高)	4m90
走幅跳	④	江頭 祥生 (加古川東高)	7m56 (+2.1)
三段跳	②	大六 拓海 (神戸鈴蘭台高)	16m69 (+2.1)
円盤投	④	永井 千啓 (明石西高)	48m96
ハンマー投	④	執行 大地 (市尼崎高)	61m11

女子

5000mW	③	藪田みのり (県西宮高)	23'38"32
走高跳	③	井上紗耶加 (北摂三田高)	1m69
棒高跳	④	友松 日南 (明石商高)	3m80
走幅跳	1位	高良 彩花 (園田高)	6m14 (-0.5)
円盤投	②	永井 楓花 (姫路商高)	43m74
七種競技	⑧	柴田アノン (姫路高)	4865点

全国高校駅伝

京都西京極SG 12/23

女子	⑤	須磨学園	1° 08'15"
		土井・樽本・荒井・金山・大西	

第41回全国中学選手権

岡山県総合陸上競技場 8/19~21

男子

100m	⑧	藤江 琉雅 (灘中)	11"11 (+0.8)
110mH	③	和田 一晃 (玉津中)	14"11 (+2.7)

女子

800m	⑧	石松愛朱加 (浜の宮中)	2'14"79
1500m	③	石松愛朱加 (浜の宮中)	4'29"26
	⑧	宮島 恵那 (荒井中)	4'35"71
100mH	⑤	工藤 美月 (鷹取中)	14"18 (+2.1)
四種競技	⑤	増田 千佳 (神河中)	2833点
	⑥	衣笠 初音 (加古川中部中)	2778点